

報道機関 各位

平時は環境配慮策として電気自動車の充電に
災害時は電気自動車を電源に建物に電力を供給
電力充放電システム「eLINK」が長岡京市に寄贈されます
～7月22日（水）同市中央公民館にて贈呈式を開催～

本市に工場を有する株式会社椿本チエイン様より、同社が開発した電気自動車向け充放電装置「eLINK」を寄贈いただくこととなりましたので、その贈呈式のご案内をします。

今回寄贈いただく機器の最大の特徴は、電気自動車のバッテリーを電源として、建物に電力を供給できることにあります。

近年、全国的な大規模災害の頻発、社会インフラ普及日数の長期化などが課題となる中、非常時に電源が確保できる仕組みは大変有効な手段であると考えます。

また、2015年パリ協定の約束である脱炭素社会を実現するためにも、環境負荷の少ない電気自動車の普及促進を図ることが大切です。

さらに、平時は市民の電気自動車充電の用に供するなど、官民連携により、防災・環境・施設の有効活用という面で、大変有意義な贈呈であると考えます。

【セレモニーの概要】

・10:00 式典開始

◇あいさつ 大原社長（椿本チエイン）

◇目録贈呈 大原社長 → 中小路市長

◇あいさつ 中小路市長（長岡京市）

◇除幕 大原社長、中小路市長

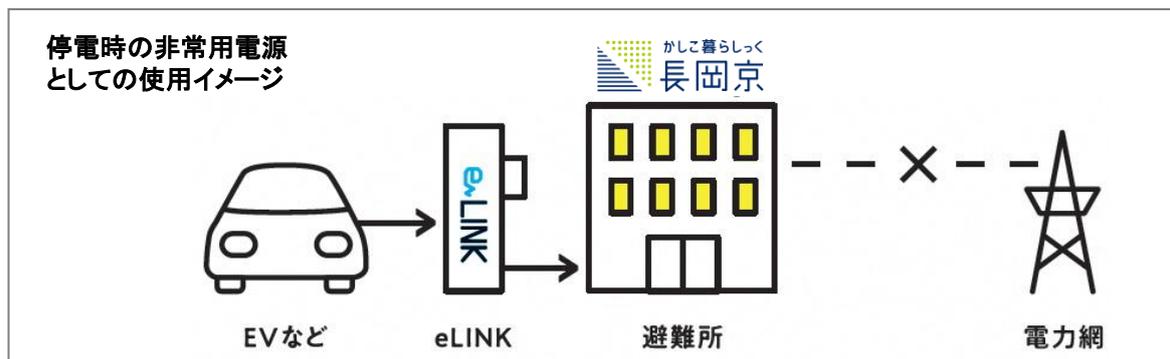
◇デモンストレーション 電気自動車から eLINK 経由で給電

◇記念撮影

閉式

【機器の特徴】

- ・電気自動車への充電装置として利用できる
- ・災害時に電気自動車の動力バッテリーを電源として、eLINK を介し建物に電力を供給できる
- ・その他多数の便利な機能を備えている



【設置場所】

- ・長岡京市立中央公民館市民ひろば（災害時には避難所としての役割を担う施設）

【期待される役割】

- ・温暖化対策として電気自動車の役割が高まる中、平時は電気自動車の普及啓発策として市民の利用に供する
- ・ここ数年、全国的にも見ても災害が多く、災害に強いまちづくりが求められている。災害時には、電気自動車を電源として、避難所となる中央公民館に電力供給が可能となる。供給先は同施設「実習室」となっており、停電時においても実習室内のコンセントが使用できる

【供給電力目安】

- ・三菱自動車 MiEV（ミーブ）16kWh モデルから給電した場合（目安）

携帯電話充電 → 80 台を 1 日 4 時間×5 日分

液晶テレビ → 1 台を 1 日約 12 時間×5 日分

ノートパソコン → 2 台を 1 日 16 時間×10 日分

【災害時の電気自動車調達方法】

- ・平成 24 年に京都府と三菱自動車工業株式会社、京都三菱自動車販売株式会社、ニチコン株式会社及び株式会社 GS ユアサとの間で締結した「災害時等における電気自動車及び給電装置に関する協力協定」に基づき、市は京都府に対し、電気自動車の貸与要請をする。そして、府より協定締結企業に対し、電気自動車の市町村への搬送要請が行われる流れとなる

【本件に関するお問い合わせ先】

- ・長岡京市役所 環境経済部 環境政策室 環境政策担当（山口）
- ・電話 075-955-9542 ファクス 075-951-5410
- ・Eメール kankyouseisaku@city.nagaokakyo.lg.jp